



カメラニュース

中学生の声 たくましく響く

6月18日、市民館で第8回「少年の主張」竹原市中学生話し方大会が開催され、市内の中学生11人が、日常の中で感じることや、社会への提言、将来のことなど、独自のテーマで思いを発表しました。

発表を終えた出場者に話を聞くと、「緊張しました。練習ではもうちよつとできたのになあと思います。」「多くの友達が見に来てくれたので、緊張せずに落ち着いてできました。」と、様々な声があがりました。

今大会では、市長賞に吉名中学校3年の黒川あずささん、青少年育成竹原市民会議賞に同校3年の川本葵さんが選ばれました。

黒川さんは、「我がふるさと吉名」という題で、学校で育てたじゃがいもを東京で販売した経験から、吉名を誇りに感じたこと、ふるさとへの熱い思いを主張しました。

川本さんは、「はるちゃんから教えてもらったこと」という題で、部活動の先輩が粘り強くがんばる姿を見て、逃げずにやり続けることの大切さを学んだことを発表しました。

また、県大会への出場候補者は、黒川さんと、優秀賞を受賞した9人の中から「気分かないもの」という題で発表した竹原中学校3年の大田実紗子さんに決まりました。

堂々と、自身の思いを力強く発表する11人の姿に、会場からは盛大な拍手が送られました。



稲田 龍太郎くん 石岡 雛子さん 岡村 真里子さん  
井上 萌々花さん 大田 実紗子さん 迫川 智貴くん  
黒川 あずささん 森本 優美さん 手良向 花実さん  
風呂迫 千春さん 川本 葵さん



民家を利用した「ふれあいサロン」開設

6月9日、忠海第3地区協働のまちづくりネットワークが「会愛サロン」を開設しました。開設を祝って、50人も人が、会場の藤井さん宅を訪れました。

民家がサロンの場となるのは、市内でも初めてのケース。民家ならではの温かく、どこか懐かしい雰囲気、場もなごみます。集会施設が近くにない地域にできた、素敵な集いの場です。

「昔はよく縁側に集まってしゃべっていましたよ。最近、近所でもあまり昔ほどおつきあいがありませんから、いろいろな人と気楽に話せるのがうれしいですね」

参加者に笑顔があふれます。

サロンは毎月第1〜4木曜日の13時半から15時まで（事前確認が必要）。生け花、唄、折り紙、健康体操など。

福祉・交流部 会長の黒崎耕二さんは、「このように、地域のみなさんが集える場所が増えればと思います。」と、明るい地域の未来を描きます。

田んぼでお絵かき

6月4日と12日、市内で田んぼに数種類の苗を植えて絵を描く田んぼアートが開催されました。



6月4日、小梨町でサンファームおなしによる「田んぼでお絵かき」が開催されました。地域の子どもや大人に農業に関心をもってもらおうと昨年からはじめたこの行事。参加者が泥だらけになって元気いっぱい描いたのは、子どもに人気のキャラクター「たまごっち」です。10月頃には稲が実って絵が完成します。

6月12日には、下野町で竹原の食を考える会が「田んぼアート」を開催し、雨の中、約20人が汗を流しました。市外から参加した西本厚志くん（呉市立昭和中央小学校4年）は、今回で3回目の体験。

「田植えは楽しいし、お昼ごはんもおいしいよ。田んぼの感触が気持ちいい！」

と、話してくれました。下野町ではアニメ「たまゆら」の絵が現れます。とても楽しみです。

## 小梨へようこそ ホタルまつり

6月11日、小梨会館前で、第3回小梨ホタルまつりが開催されました。会場では、来場者全員に小梨のお米で作ったポン菓子がプレゼントされ、若竹会のグルメ売店や、ビンゴゲームで盛り上がった後、清らかな水辺に光る淡いホタルの光を楽しみました。



## やっぱり速い！五輪選手と交流

5月31日、竹原小学校で、ひろしま子ども夢スポーツ教室が開催され、中国電力陸上部で活躍する選手4人とマネージャーのみなさんが学校を訪れました。

児童は、オリンピック出場経験をもつ佐藤敦之さんなどの話に真剣に耳を傾け、夢や目標をもつことの大切さを学びました。また、実技実習で鬼ごっこやミニ駅伝を楽しんだ児童は、選手のみなさんの足の速さにとっても驚いていました。

## まちづくり標語 姉妹で受賞

6月15日、国土交通省で、まちづくり月間国土交通大臣表彰式が開催され、児童・生徒の部で特選となった大乘小学校5年の永井真帆さんが表彰を受けました。竹原中学校1年の永井美月さんも入選し、姉妹そろっての受賞となりました。



## 感受性豊かに生きる

6月25日、市民館で男女共同参画推進講演会が開催され、作家の志茂田景樹さんが各地で行ってきた読み聞かせの活動や取材の経験から、感受性豊かに生きることの素晴らしさを語りました。講演の最後には、感動的な読み聞かせの披露もありました。



## 未来に向かってチャレンジ

6月19日、東広島市総合福祉センターで、第1回湯崎英彦の宝さがしー未来チャレンジ・トークが開催されました。

知事が県の総合計画「未来チャレンジ・ビジョン」を説明した後、竹原市、東広島市、大崎上島町の地域住民による事例発表が行われました。

竹原市からは、休暇村大久野島の支配人である義本英也さんがこれまで取り組んできたことを紹介し、挑戦することの素晴らしさを発表しました。来場者からは大きな拍手が送られました。

## 今年もみんなの力で 海岸清掃！

6月26日、的場海岸でリフレッシュ瀬戸内が開催され、331人が海岸を美しくしようと、清掃に参加しました。参加者の中には、毎年参加している団体や企業も多く見られました。地域のみなさんの継続した取り組みが、ふるさとの海を守っています。

